

認定特定非営利活動法人

**2018年 6月号**

# 大津夜まわりの会ニュース

〒520-0815

大津市膳所1丁目10-4

TEL/FAX : 077-521-3603

メール:yomawarinokai@gmail.com

http://otsu-yomawarinokai.org/

2017年度

## シェルター利用は25件、28人に増えました

## 自立相談は49件 求められる居住支援の強化

大津夜まわりの会は、住居を失くした人やその恐れが差し迫っている人など、いわゆる「ハウジング・プア」状態の人々に「安心して眠れる場所」を保障するとともに、そうした人々を生み出す「貧困」問題の解決に向けた活動に励んでします。

活動の柱が、生活困窮者自立支援法に基づく大津市の市生活困窮者自立相談支援及び生活困窮者一時生活支援業務の業務委託です。昨年度（2017年度）の自立相談支援件数は49件で前年度（61件）を下回りましたが、相談の中身は深刻なケースが増えています。49件のうち住居にかかわる相談は38件で、野宿や車上生活をしているケースが13件、住まいを失ったり、失う直前のケースが18件、住居が不安定な状態が7件でした。男女別では男性38件、女性11件、年代別では40歳代が10件、50歳代が9件、20歳代と30歳代が各8人と、働き盛りの人たちが目立ちます。これらの人たちの多くが、それまでの劣悪で過酷な労働環境や複雑な家庭状況などのせいで心や身体に不調をきたしており、現代社会の暗部を背負わされて苦悶する痛々しい姿を体現しています。また70歳以上も8人を数え、高齢者の住居問題の深刻さを反映しています。

### 2017年度シェルター利用状況

	件数	シェルター利用	救護施設入所	直接居宅	その他	
住居関係	野宿・車上生活	13	6	4	1	2
	住居喪失直前直後	18	14	2	2	0
	不安定	7	5	0	0	2
	その他	11	0	0	0	11
合計	49	25 (28人)	6	3	15	

※シェルター利用数25件28人には夫婦1組、母子1組(3人)が含まれる。女性は8人。提供した宿泊総数は1,433泊、最長が169泊、最短が3泊、1件当たり平均60.9泊、シェルターの稼働率は83.9%

2017年度にシェルター（緊急一時宿泊所）を利用した一時生活支援は、住居にかかわる相談38件のうち25件、28人で、前年度（20件、23人）より増えました。増加の要因としては、大津市の予算措置によってシェルターとして借り上げる民間アパートが1室増え、計5室になった事があげられます。とはいえ、シェルターが満室で救護施設や賃貸住宅につながざるを得なかったケースが9件を数え、いったん救護施設に短期入所したあと、シェルターの空きを待って受け入れたケースも3件ありました。

### 本年度も「断らない支援」で、独自事業にも全力投球します！

こうした状況に、当会は本年度も「断らない支援」「見捨てない支援」をモットーに、一層きめ細かな支援に努めると共に、関係機関と連携しながら政府・自治体等に居住支援の一層の強化充実を訴えていきます。

また、当会の独自事業として本年度も総合自立相談事業、ひまわりサロン（居場所）事業、夏休みのこども学習支援事業、利用者らの自立支援事業、年末恒例の越冬支援事業に取り組むとともに、社会福祉調査・研究事業や広報活動にも力を注ぎます。

応援ご寄付、ありがとうございました

## つかいみちを選べる募金

総額 542,000円(66件)

大切に活用します!

滋賀県共同募金会の平成29年度「つかいみちを選べる募金」で、大津夜まわりの会を選んでいただいた寄付金は66件、542,000円にのぼり、前年度を6万円余りも上回りました。これに県共同募金会からの加算金があり、688,000円となりました。ご寄付くださった多くの方々に心から感謝申し上げます。



いただいたご寄付を活用する「夏休み子どもひまわりの家」の1コマ(昨年)

いただいた浄財は、当会利用者の皆さんの自立を支援する社会生活基盤づくり講座や夏休みのこども学習支援、歳末の越冬支援など助成事業の自主財源(279,000円)に充当するほか、ひまわりサロン運営(229,000円)、緊急支援物品購入(90,000円)、調査・研修(70,000円)などに活用。皆様方の熱いエールにしっかり応え、活動の一層の充実に努めることとお約束します。



社会生活基盤づくり講座にもご寄付を充当(気功教室、今年5月)

### こども学習支援事業

## 夏休み子どもひまわりの家



ことしも下記の日程で実施します。

7月27日(金)、31日(火)、8月3日(金)、7日(火)、10日(金)、17日(金)、21日(火)、24日(金)の計8日  
いずれも10時~16時 相模川会館(京阪膳所本町駅徒歩3分)など

### ◎参加を募集する児童

- ・原則小学4~6年生、定員25人
- ・昼間、こどもだけで過ごさなければならない、昼食を作ってくれる人がいない、友達がいない、勉強の仕方が分からないなどの悩みを抱えた児童を優先
- ・午前中は学習、昼食後、午後は体験、見学などの特別活動
- ・参加費はおやつ代として1日100円いただきます

## <ボランティアの「先生」募集>

- ・高校生や大学生、専門学校生、教師OBら、「子どもが好き」な人で、学習アドバイスや活動指導、見守りなどを楽しみながら出来る人
- ・午前中や午後のみ参加、1日だけの参加も可
- ・謝礼金は支給しませんが、交通費は支給します  
昼食は児童と一緒に食べていただきます
- ・必要な方にボランティア活動証明書を発行します
- ・申し込み締め切りは7月13日(金)
- ・申し込みは電話かメール(yomawrinokai@gmail.com)で当会まで

電化製品や日用品、食料、衣類などのご提供をお願いします!  
シェルター入居者が「再出発」に向けて居宅生活に移るときに必要な生活用品を提供していただければ、ありがたいです。冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、炊飯器、掃除機、テレビなどの電化製品はじめ、自転車、衣料品、食料品などをお待ちしています。現金や各種商品券、切手、テレホンカードも大歓迎です。

連絡先

077-521-3603